

令和５年度 指定管理者モニタリング報告書

施 設 名	加東市滝野交流保養館
施 設 所 在 地	加東市下滝野１２８３番地１
指 定 管 理 者	名 称 加東市ふるさと振興協会／一般社団法人加東市観光協会 代表者 住 所 加東市下滝野１２８３番地１／加東市河高４０２８番地
モニタリング の 実 施 方 針 ・ 方 法 等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、 実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒアリング等により把握した。 次のとおり、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントし たうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた 考え方」を記載した。
担 当 課	産業振興部 商工観光課 Tel 0795-43-0530 担当者氏名 竹内 誠彦・森本 正明

１ 総合コメント

入浴者数は、川の湯サウナの新調に加え、新型コロナウイルス感染症の第５類感染症への移行を受け、徐々に戻ってきている。入浴者数・利用料金ともに計画未達ではあったものの、対前年度比で入浴者数は116.4%、利用料金は126.2%と回復傾向がみられた。経費削減・抑制の継続の効果もあり、令和５年度は単年度収支黒字を達成できたことは評価したい。

引き続き、単年度収支黒字を達成できるよう注力いただきたいとともに、これからも市民参加・市民協働への取り組みや地域・関係機関との連携し、加東市内外を問わず人々に愛されている施設を目指していただきたい。

２ 今後の改善に向けた考え方

引き続き、市内外の利用者数の増加に資する施策を実行いただきたい。

また、令和６年度以降も単年度収支が黒字を達成できるよう、財務管理と経営改善に注力し、健全・安定な経営を継続いただきたい。

３ 業務の履行状況について

協定書・仕様書で定められた項目について、適正に履行できている。

4 サービスの質について

事業の遂行については適切であり、利用者アンケートによる評価も概ね好評という結果であった。地域・関係機関との連携も積極的にできており、加東市内外を問わず人々に愛されている施設となっている。

入浴者数については、計画未達であったが、新型コロナウイルス感染症の第5類感染症への移行を受け、徐々に入浴者数が戻ってきている。引き続き、計画達成に向けて入浴者数の増加に努めていただきたい。

入浴料については、計画未達であったが、入浴者数の戻りも相まって前年度比126.2%と大きく増加している。単年度収支黒字につながるよう入浴料の確保に努めてほしい。

テナント貸付により安定的な収入を確保できている。今後もテナント事業者と協働し、定期的にイベントを開催し、引き続き入浴者の増加に努めていただきたい。

5 収支状況等について

原油価格等の高騰の影響により施設維持管理費が当初の計画と比較し増大しているものの、新型コロナウイルス感染症の第5類感染症への移行による入浴者数の増加や入浴料の値上げ、日々の経費削減により、令和5年度は単年度収支黒字を達成できている。

また、収入増加につながるようSNSやかとうトリビューン、民間旅行会社を活用した広告や宣伝も行い、積極的に新規顧客の獲得に努めている。

令和6年度以降も単年度収支の黒字を達成できるよう、健全・安定な経営を継続しつつ、利用者に満足してもらえるサービスの提供を期待する。